

定員

- 開催地ごとの定員は20名です。
- 定員になり次第、募集は終了させていただきます。

参加費用

- 無料 ※会場までの交通費及び研修会中の宿泊費は、参加者負担です。

お申込み

- 所定の申込フォームに必要事項をご記入のうえ申し込みください。
- 各研修会の申込フォームは、株式会社野生鳥獣対策連携センターHPの「研修案内」タブ>「令和8年度鳥獣被害対策コーディネーター等育成研修」（<https://www.cho-jyu.jp/kensyu2026/index.html>）よりアクセスできます。上記URLへは右上のQRコードからもアクセスできます。
- 申込先は、各研修会ごとに異なります。詳しくは、上記HPをご覧ください。

当日の服装

- 現地実習においては森林内で作業可能な服装をご準備下さい。
- 本研修は少雨決行ですので、雨天時はレインコート等の雨具をご準備ください。
- 野外実習後はCSF対策として、当日の履物に消毒液を散布させていただきます。

QRコード



(研修案内)

鳥獣被害対策コーディネーター等育成研修 開催案内

本研修では造林や森林経営のためのニホンジカの被害対策の知識や技術を実践的に学び現場の被害状況に応じて適切な調査や事業計画、評価ができるようになることを目指しています

参加費無料 研修カリキュラムについては内面をご覧ください

1. 鳥獣被害対策コーディネーター育成研修

【主な対象者※】

都道府県担当職員、市町村担当職員、森林管理局職員
森林総合監理士、林業普及指導員、森林施業プランナー等

【研修内容】

本研修は造林地のシカ被害対策事業の計画立案や事後評価の方法を習得されたい方向けの研修です。研修は、前半の技術編と後半の計画・検証編に分けて行いますが、連動する内容となっています。そのため、前半、後半の両方の研修に参加されることが望ましいですが、いずれかの参加でも可です。

1. 前半：技術編

・野外実習を交えながら、調査手法、防護手法、捕獲手法および防除計画策定といった、造林地におけるシカ被害対策の基本的な事柄、シカ被害対策に係る事業を設計・実行について学びます。

2. 後半：計画・検証編

・前半で学んだ考え方や調査結果に基づき、パソコンを使った室内演習を実施します。
・防護演習ではシカの生息状況や対策の実施状況が成林に与える影響や結果および、防護にかかるコストなどを検討します。
・捕獲演習では、設定された仮想地域で事前調査や捕獲計画を立案し、その結果の評価方法、それを用いた次年度以降の計画を立てる際の検討ポイントを研修します
・これらの検討を通して、不確定要素が多い中での計画策定や事業の成果を検証する方法を学びます。

2. 地域リーダー(森林)育成研修

【主な対象者※】

林業普及指導員、森林施業プランナー、市町村担当職員
森林組合職員、林業事業体職員、森林管理署職員、行政専門員等

【研修内容】

・シカ被害対策事業において、現場作業の管理監督に必要な知識や技術を習得されたい方向けの研修です。
・座学講習では、シカの被害状況や生息状況の現状把握のための実際の調査手法、防護手法および捕獲手法を中心に研修します。
・野外実習において、座学講習を踏まえた上で、シカの食痕からの被害状況の把握や防護柵の設置、くくりわなの設置を実際に体験することで、シカ被害対策事業の管理監督を適切に行えるようになることを目指します。

※いずれの研修も主な対象者に記載以外の方も申し込み可能です

研修会開催日程 全国8ヶ所で開催が予定されています。開催地をご確認のうえ、お申し込みください。
研修会ごとに申込先、締め切りおよび申込フォームが異なりますのでご注意ください。

地域の特性に応じた話題提供を予定しています。
そのため、集合型とオンラインが含まれる会場については原則同一会場の座学と実習にご参加下さい。

1－1. 鳥獣被害対策コーディネーター育成研修 前半（技術編）

開催地	研修形態	日程	申込締切	問い合わせ先
北海道 釧路市	集合型	10月5日(月)~10月8日(木)	9月24日 (木)	特定非営利活動法人EnVision環境保全事務所 TEL：011-595-8022 FAX: 011-595-8022 Email：kensyu2026@env.gr.jp 【担当：中村・小林・安田】
福岡県 飯塚市	座学：オンライン 実習：集合型	座学：10月6日(火)~10月8(木) 実習：10月19日(月)~10月21日(水)	9月29日 (火)	株式会社野生鳥獣対策連携センター岡山支社 TEL：086-995-2280 FAX：086-995-2289 Email：kensyu2026@cho-jyu.jp【担当：山口・中村】
神奈川県		座学：10月13日(火)~10月15日(木) 実習：11月4日(水)~11月6日(金)	10月6日 (火)	株式会社野生動物保護管理事務所 TEL：042-649-3609 FAX：042-649-1386 Email：kenshu@wmo.co.jp【担当：田中・本橋】

1－2. 鳥獣被害対策コーディネーター育成研修 後半（計画・検証編）

開催地	研修形態	日程	申込締切	問い合わせ先
熊本県 熊本市	集合型	12月16日（水） ~12月18日（金）	12月9日 (水)	株式会社野生鳥獣対策連携センター岡山支社 TEL：086-995-2280 FAX：086-995-2289 Email：kensyu2026@cho-jyu.jp【担当：山口・中村】
埼玉県 さいたま市		12月23日（水） ~12月25日（金）	12月16日 (水)	
岡山県 岡山市		1月13日（水） ~1月15日（金）	1月6日 (水)	

2. 地域リーダー(森林)育成研修

開催地	研修形態	日程	申込締切	問い合わせ先
岡山県 奈義町	集合型 (座学はオンライン参加可能)	10月28日（水） ~10月30日（金）	10月21日 (水)	株式会社野生鳥獣対策連携センター岡山支社 TEL：086-995-2280 FAX：086-995-2289 Email：kensyu2026@cho-jyu.jp【担当：山口・中村】
群馬県 桐生市		11月9日（月） ~11月11日（水）	11月2日 (月)	株式会社野生動物保護管理事務所 TEL：042-649-3609 FAX：042-649-1386 Email：kenshu@wmo.co.jp【担当：田中・本橋】

1. 鳥獣被害対策コーディネーター育成研修 カリキュラム

座学と実習は別日程にて実施します。
北海道会場では全日程を集合型の研修にて実施するため、以下のカリキュラムと異なります。
会場ごとのカリキュラム詳細や最新情報につきましては、随時HPにて公開します。

1－1. 前半：技術編 【座学】オンラインにて実施（Zoom）

		テーマ	研修内容
1日目	午後	ガイダンス	趣旨説明・講師紹介・自己紹介
		鳥獣対策の基本的な考え方 現状の把握法保	シカによる被害発生状況や特徴、シカによる森林育成や 経営への影響、対策の考え方
		業務管理と作業の記録の必要性	アプリを用いた業務管理や業務記録の方法、計画や評価への活用
2日目	午後	銃器による捕獲手法	銃器による捕獲の特性と安全管理 流し猟、忍び猟、巻き狩りなどの手法
		わなによる捕獲手法	わな設置に有効な痕跡や生息状況の確認手法、設置の際の留意点
3日目	午後	防護の考え方	植栽木の基本的な防護手法の解説 被害程度に応じた対策選択の考え方
		事例紹介	開催地で行われているシカの防護・捕獲の実証実験等の紹介
		質疑応答・現地実習の説明	

【実習】現地にて開催

		テーマ	研修内容
1日目	午後	ガイダンス	趣旨説明・講師紹介・自己紹介
		現状の把握方法	シカによる被害発生状況や特徴、シカによる森林育成や 経営への影響、対策の考え方
2日目	午前	事例紹介	開催地で行われているシカの防護・捕獲の実証実験等の紹介
		防護に関する実習	植栽木の基本的な防護手法の解説と、被害程度に応じた対策の考え方
	午後	捕獲実習	銃 ：獲物の探索方法、待場選定、安全な射撃について わな ：くくりわなの設置方法と痕跡確認によるわな設置適否の判断方法
3日目	午前	業務の計画から評価	捕獲事業の計画・発注から評価までの流れについて
		意見交換会	研修を踏まえた意見交換
		習熟度確認テスト・終了証授与	習熟度確認テストを実施後、修了証の授与（座学・実習両参加者のみ）

1－2. 後半：計画・検証編

		テーマ	研修内容
1日目	午後	ガイダンス	趣旨説明・講師紹介・自己紹介
		防護計画の立案と検証の手法	計画の策定及び評価の方法、防護手段を検討するために必要な情報整理
		防護計画策定演習 (情報整理、予測)	仮想環境での被害状況から、植林木の成長や防護のコスト等を検討する演習
2日目	午前	防護計画策定演習 (計画立案、事業検証)	1日目に実施した検討結果に基づいた、経営判断や計画立案や事業検証の演習
		捕獲計画の立案と検証の手法	効率的・計画的な捕獲事業に必要な情報収集の方法や事前調査の必要性
		捕獲計画策定実習 (調査、計画立案)	仮想地域における捕獲事業の計画を通して、捕獲実施前の事前調査計画の立案から、調査結果を受けての捕獲計画の立案を検討する演習
3日目	午前	捕獲計画策定実習 (捕獲実施と成果の検証)	仮想地域における、捕獲計画に基づいて実施した成果を検証し、 次の捕獲事業を検討する実習不確定要素の多い捕獲事業の進め方についてのポイント
		習熟度確認テスト・終了証授与	習熟度確認テストを実施後、修了証の授与

コーディネーター研修の様子



被害確認実習



模擬銃を用いた実習



柵の点検実習



計画策定演習

2. 地域リーダー（森林）育成研修 カリキュラム

全日程集合型研修

		テーマ	研修内容
1日目	午後	ガイダンス	趣旨説明・講師紹介・自己紹介
		鳥獣対策の基本的な考え方	シカによる被害状況や特徴、シカによる森林育成や対策の考え方
		現状の把握方法	シカの生息状況及び被害状況を広域及び狭域で把握する手法
		防護による鳥獣被害対策	防護による鳥獣被害対策の考え方や、植栽木の防護手法
		事例紹介※	開催地で行われているシカの防護・捕獲の実証実験等の紹介
2日目	午前	止めさし実習※	予め捕獲していた個体を用いて、簡易電殺器による止めさし作業
		植栽木の被害確認・ 植生防護柵点検	植栽木の被害確認と設置されている防護柵の見学による、 防護方法と点検方法
		植生防護柵の設置	柵設置実習を通して、資材や設置方法の種類の実際、 それぞれの設置や管理における注意点
	午後	被害や対策の現状把握	植生調査やセンサーカメラを用いた、 シカによる被害の把握及び生息状況調査
		わな設置研修	わな設置に有効な痕跡や生息状況の確認手法、設置の際の留意点
3日目	午前	わなによる捕獲方法	箱わな、囲いわな、くくりわなによる捕獲手順、 安全管理における注意点
		意見交換	研修を踏まえた意見交換
		習熟度確認テスト・終了証授与	習熟度確認テストを実施後、修了証の授与

※岡山会場にて実施

リーダー研修の座学（初日および最終日）はオンラインでの受講も可能です

リーダー研修の様子



座学講習



くくりわなの設置実習



被害確認実習



防護柵の設置実習

3. 事例紹介

以下のリーダー研修会場およびコーディネーター研修（前半）会場においては、その地域で実施しているシカ害対策の事例を紹介します。
参加する研修会以外でも、他会場のオンライン座学に追加で参加することも可能です。

研修	会場	座学	現地	事例	実施主体
地域リーダー 育成研修	岡山	○	－	林内に設置した 侵入防止柵の管理技術	岡山県農林水産総合センター
鳥獣被害対策 コーディネーター 育成研修（前半）	神奈川	○	※	植生防護柵による 自然植生の回復	神奈川県
	福岡	○	－	スギ大苗とネット資材 による複合的な対策	福岡県農林業総合試験場

※調整中

研修会カリキュラムや事業全体に関する問い合わせ

株式会社野生鳥獣対策連携センター岡山支社 担当：山口・中村
TEL：086-995-2280 FAX：086-995-2289
Email：kensyu2026@cho-jyu.jp

主催 株式会社野生鳥獣対策連携センター

<https://www.cho-jyu.jp/kensyu2026/index.html>

兵庫県丹波市青垣町佐治120番地 1

TEL：0795-78-9799 FAX：0795-78-9769

